

お知らせ

【モロッコ地震救援基金】

2023年9月、ロータリー財団管理委員会は、壊滅的な地震の被災者のための緊急救援活動を支援するため、新たに「モロッコ地震救援基金」を設置しました。寄付者は、ロータリー会員が主導する救援活動に直接寄付することができます。

ご寄付は、2023年12月31日まで受け付けています。地区は、2024年9月21日まで(または資金がすべて配分されるまで)、この基金から補助金を申請できます*。2024年9月21日までに使用されなかった寄付は、一般の災害救援基金に移され、世界中の災害に対して利用可能となります。詳細は[こちら](#)

- オンラインご寄付(クレジットカード決済):
<https://my.rotary.org/ja/disaster-response-fund>
- 銀行振込によるご寄付: お振込みと併せて「[寄付送金明細書](#)」をお送りください。寄付分類欄には、「その他」の部分に「モロッコ地震救援基金」とご記入ください。
- DDFの寄贈は[こちら](#)

<参考>

「モロッコ地震救援基金」へのご寄付は、

- 寄付者の累積寄付額の合計に加算されます。
- ポール・ハリス・フェロー、ポール・ハリス・ソサエティ、メジャードナー、アーチ・クランフ・ソサエティの認証の対象となります。
- 月次寄付レポートや寄付詳細レポートなどに「その他」として表示されます。
- クラブの年次基金寄付、一人当たりの年次基金寄付の計算、DDF算出のための計算等の対象にはなりません。

*災害救援補助金は、モロッコ地震の被災地への支援を目的として、第9010地区が利用できるものとなります。

[My ROTARY RIレポート](#)

[寄付送金明細書](#)

[寄付・認証の手引き](#)

寄付総額 世界上位5ヶ国

	2023年9月21日現在
アメリカ	\$ 16,005,163
韓国	\$ 6,722,865
日本	\$ 3,318,256
インド	\$ 2,690,507
台湾	\$ 2,000,266

2023-24年度
目標(世界)

- ・年次基金:1億5,000万ドル
- ・ポリオプラス基金:1億5,000万ドル(ゲイツ財団からの上乗せ含む)
- ・恒久基金:1億4,000万ドル(2025年までに20億2,500万ドル)
- ・その他の現金寄付:6,000万ドル(グローバル補助金への現金拠出等)
- ・全体(上記合計):5億ドル

目標(日本)

- ・年次基金:一人当たり150ドル
年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成
EREY(年次基金への寄付)の推進
ポール・ハリス・ソサエティの推進(各地区+30名目標)
- ・ポリオプラス:一人当たり30ドル
- ・恒久基金:冠名基金を各地区1件以上設立
- ・大口寄付:1万ドル以上のご寄付100件、AKS10名増(日本全体)
- ・ポリオプラスへDDFの20%を寄贈
- ・ロータリー平和センター、重点分野へのDDF寄贈
- ・世界ポリオデー(WPD)の推進
- ・補助金の活用の促進
- ・ロータリー平和フェローシップの推進

日本の状況

冠名基金数 255
AKS会員数 62
PHS会員数 1394

【ハートがあふれるベトナム初のローターアクトクラブ】

One Million Lives Saigon ローターアクトクラブには、女性のエネルギーが満ちあふれています。というのも、創立会長、会長、副会長が全員女性なのです。これは偶然、それとも意図的でしょうか？その答えは恐らく両方です。

「偶然かもしれません」と話すのは、ロイヤルメルボルン工科大学のホーチミン(サイゴン)キャンパスの学生、チャン・ファン・ドアン・フィンさんです。「でも、ちょっと偏見に聞こえるかもしれませんが、私の学校では女子の方が男子より課外活動に積極的な感じがします」 続きは[こちら](#)

【病める地球に救いの手を】

気候変動による世界各地の災害にロータリー会員が対応

「今や、気候変動の影響はここにも明らかに見られます。気温の上昇と強風のせいで鎮火に時間がかかり、地面が高温のため火がいったん収まってもまた燃え上がってしまうのです。その結果、島の多くの部分に火が広がってしまいました」

こう話すのは、ギリシャのロードス島に住むイオアニス・カリキアスさん(ロードス・ロータリークラブ会員)です。ロードス島では、7月から8月にかけて島全域で山火事が猛威を振りました。

今年、気候変動とかかわる自然災害により、世界各地で無数の人が被災しています。記録的な猛暑により北米から北アフリカにいたるまで各地で山火事が発生している一方で、異常な豪雨により中欧や環太平洋の国々で洪水が起きています。 続きは[こちら](#)

【「種ライブラリ」がもたらす豊かな実り】

市民による種の交換を通じて生態系の多様性と花粉媒介昆虫を守り、低所得者の食卓をうるおす

小さな一粒の種でも大きな力を持っている。「種ライブラリ」の活動を行っているロータリークラブなら、そのことを知っています。市民が庭にまくことのできる種を無料で配布するこの活動を通じて、地元コミュニティは大きな「収穫」を得ています。

普通のライブラリ(図書館)のように、市民が集い、学びを促すという役割を果たしていますが、それだけではありません。地元の生態系の多様性を高め、絶滅危機下にある花粉媒介昆虫を支え、低所得の人たちの食料確保にも一役買っています。

「種ライブラリのよい点は、地元根ざしていること」と話すのは、ピーボディ・ロータリークラブ(米国マサチューセッツ州)会員のアル・ヘイデンさんです。「トマトはスーパーのプラスチック袋に入って実るものではないことを、子どもたちに見せることができます。スマホばかり見ているこの時代、家庭菜園を通じて家族の絆を深めるきっかけにもなります」。ヘイデンさんのクラブは、500米ドルを寄付して3カ所の地元図書館に種ライブラリを設置し、今年はそので6千袋もの種を配布しました。

続きは[こちら](#)

リソース

<My ROTARY>

[Rotary.org 利用にあたってのリソース](#)
[「My ROTARY」アカウント登録方法](#)

[ブランドリソースセンター](#)

[ロータリーの日本語フェイスブック](#)

[ロータリーボイス](#)

[組織規定](#)

[管理委員会の決定](#)

[ロータリーのプライバシーの方針](#)

[ロータリーのラーニングセンターを活用しよう](#)

<資料>

[財務報告](#)

[年次報告\(オンライン版\)](#)

[ロータリー財団概要資料](#)

[ロータリー財団参照ガイド](#)

<各種レポート>

[My ROTARY](#) にログインをすると、[「各種レポート」](#)から、役職に応じてレポートを閲覧できます。

- PHF とベネファクターレポート
- クラブ認証概要レポート(CRS)
- メジャードナー/アーチ C、クランフ・ソサエティ/遺贈友の会レポート
- PHS レポート
- 月次寄付レポート(MCR)
- 地区ファンドレイジング分析
- 補助金に関するレポート など
- 寄付者履歴レポート(本人のみ)

認証や、各種レポートの閲覧方法等は、「[寄付・認証の手引き](#)」もご参照ください。

[パキスタンとウクライナを支援するための二つの一時的な基金について](#)

[災害救援基金へのご寄付に関する最新情報](#)

【ロータリー会員、ウクライナに仮設住宅を設置】

手頃な価格で簡単に設置できるプレハブ住宅は、家という形で安心と希望を被災地に届けます

ナタリア・ペレフステンコさんの人生は、2022年3月16日を境に一変しました。その日、ウクライナのモシユン村にある自宅はロシアの攻撃によって全壊しました。

「私の家はロケット弾によって破壊されました。着弾したのは娘が子どもと一緒に暮らしていた部屋でした。家が火で包まれるより先に避難を終えていたのが不幸中の幸いでした」

現在、ペレフステンコさんと家族はモシユンに戻っています。しかも自宅のあった場所で、ロータリー会員から寄贈された仮設住宅に住んでいます。

世界中のロータリー地区は、総額約100万米ドルの災害救援補助金によって76戸の小規模住宅を寄贈しました。この住宅は主にモシユンで使用されています。この取り組みはウクライナの雇用を支えています。また、この住宅の構造は再利用できるため、持続可能性も確保しています。しかし何より重要なことは、仮設住宅が市民の生活に迅速かつ大きなインパクトを与え、希望につながっていることです。続きは[こちら](#)

【平和というレガシー】

「先住民との対話の方法を皆で学ぶ」というガバナーのビジョンを叶えた地区のストーリー

デーブ・ハミルトンさんには、平和のビジョンがありました。ロータリーと国境を越えた調停者たちとの協力関係を知って以来、彼はこのグループを自分の地区に招き、人びとが困難な問題に対処し、新しい方法で紛争に取り組む方法を学べるようにしたいと考えていました。

カナダ西部に位置する第5040地区の2020-21年度ガバナーに指名されたハミルトンさんは、地区大会の野心的な議題を計画し始めました。それは、ロータリー会員、MBBIファシリテーター、そしてこの地域の先住民族であるニスガ民族の人びとを集め、互いに知り合い、共に学び合う機会を作ることでした。続きは[こちら](#)

【世界中で活躍する「世界を変える行動人」】

世界のプロジェクトをご紹介します。記事は[こちら](#)

リソース

<資料>

[年次基金とシェア](#)

[寄付者の認証](#)

[税制上の優遇措置](#)

[オンラインでの寄付](#)

[認証ポイント使用申請書](#)

[ポール・ハリス・ソサエティ\(PHS\)](#)

[PHSパンフレット](#)

[PHS入会フォーム](#)

[PHS認証状テンプレート](#)

[PHSオンライン入会手続き\(ppt\)](#)

[資金モデルの変更について\(2021年7月より有効\)](#)

国際財団活動資金(WF)に関するプレゼンテーション

• [パワーポイント](#)

• [動画](#)

[END POLIO NOW](#)

恒久基金

[「恒久基金 地区の手引き」](#)

[ロータリーの恒久基金](#)

[恒久基金の財務報告](#)

[ロータリー賞](#)

<DDFの寄贈>

ポリオプラス基金にDDF(地区財団活動資金)を寄贈されますと国際財団活動資金(WF)から半額の組み合わせがあり、その合計にゲイツ財団から2倍の上乗せがあります。

例: $DDF2 + WF1 + \text{ゲイツ} 6 = 9$

※WFからの組み合わせ上限額は500万ドル、ゲイツ財団からの上乗せ対象は上限5,000万ドルです。

[DDFオンライン寄贈フォーム](#)

<感謝状>

ポリオプラスへ1,500ドル以上のご寄付をくださったクラブ、DDFの20%以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区は、次年度に感謝状が贈られます。

ポリオプラス



【世界ポリオデー迫る：一人ひとりの行動の喚起にご協力ください】

ポリオ根絶への行動が求められる中、私たち一人ひとりに、大きな変化をもたらす力があります。ポリオは依然として世界的な脅威ですが、力を結集すれば終止符を打つことができます。予防接種の重要性を広く知ってもらうこと、ポリオ根絶活動への参加を呼びかけること、ボランティアとして時間や専門知識を提供することなど、私たちの行動が子どもを身体まひから守るための波及効果を生み出します。この予防可能な病気で苦しむ子どものいない未来を築くために団結しましょう。

昨年、ロードバイクでの日本縦断を実行し、3つの重要なマイルストーンを達成した宮崎陽市郎さんに関するブログ記事をご紹介します。現在、宮崎さんはガバナーとしての責務を果たしつつ、今年10月に決行する新たな挑戦に向けて準備を進めています。次の記事をお読みいただき、そのリンクを多くの会員にご紹介ください。一人ひとりの行動を喚起するストーリーです。

『ポリオ根絶のために笑顔で走る』

昨年、ポリオ根絶のためのファンレイジングを立ち上げ、ロードバイクで日本縦断を達成したガバナーエレクトが、今年はガバナーとして、ポリオプラス・ソサエティの推進のためにペダルをこぎます。

第2750地区ガバナーの宮崎陽市郎さん(東京三鷹ロータリークラブ)が昨年11月に挑んだ道のりは、宗谷岬(北海道)から佐多岬(鹿児島)にいたる約2,750キロメートル。その走行距離は、米国メイン州にあるカナダとの国境から南端フロリダ州のオーランドまでの移動距離にも勝ります。平坦な道ばかりではなく、海岸沿いでは強風に襲われます。長く暗いトンネルではバランス感覚が麻痺し、経験者曰く、上り坂なのか下り坂なのか、まるで「空中をこいでいる」ような危険な状況に陥ることもあります。続きは[こちら](#)



昨年、ポリオプラス基金への寄付を募るため、自転車での日本縦断チャレンジに挑んだ宮崎陽市郎さん。ガバナーに就任した今年、ポリオプラス・ソサエティを促進するために[新たなチャレンジ](#)に挑みます。

世界ポリオデー関連リンク

[クラブによるポリオ根絶活動の記録用フォーム](#)

[世界ポリオデーのリソース](#)

[EPN ウェブサイト リソースセンター](#)

【人種差別のただ中でポリオと闘う】

米国の人種隔離政策のただ中でポリオ感染拡大防止に取り組んだ黒人医師や研究者たちのストーリー

マイロン・トンプソンさんに起こったことは、わずかな体の異変から始まりました。ポリオがアメリカ南部で猛威を振っていた1949年、2歳の小さな幼児は高熱で苦しみ出し動けなくなりました。恐怖にかられた彼の母親は、近くにあるアラバマ州タスキーギの病院に駆け込みました。4本の円柱で支えられた玄関がある壮大な赤レンガの建物は、まるで威厳のあるホテルのようでした。そこではポリオに罹患した子どもへの対応に特化した医師や看護師が両手を広げて患者を迎え入れ、ただちに治療が始められました。

病気の黒人の子どもが一流の治療を受けられたことがどれほど素晴らしい幸運だったか、トンプソンさんが気が付いたのは何年も後のことでした。彼が治療を受けたジョン A. アンドリュー記念病院小児麻痺センターは黒人大学のキャンパス内にあり、ポリオにかかった黒人の子どもの治療に特化した米国唯一の施設でした。当時、南部諸州の州法として存在したジム・クロウ法により、病院が黒人患者を追い返したり、受け入れたとしても場所を白人と分け低レベルの治療を施すことは当たり前のことでした。「ただ治療を受けたというだけではありません」と話すトンプソンさんの声は柔らかく控えめで、縁眼鏡の奥から真剣な眼差しが向けられます。「私への対応は尊厳にみちたものでした」
続きは[こちら](#)

【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: [GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

		2023年 1月1日～ 9月19日	2022	2021	2020
常在国	パキスタン	2	20	1	84
	アフガニスタン	5	2	4	56
非常 常在 国	モザンビーク	0	8	0	0
	マラウイ	0	0	1	0
世界合計		7	30	6	140

寄付・認証

【恒久基金:2025年までに20億2500万ドル】

恒久基金は投資され、元金が支出されることなく利用可能な収益の一部がロータリー財団のプログラムを支えるというものです。また、プログラムが永続的なものとなるように、2025年までに恒久基金を20億2500万ドルとする寄付目標が立てられています。

➤ 目標

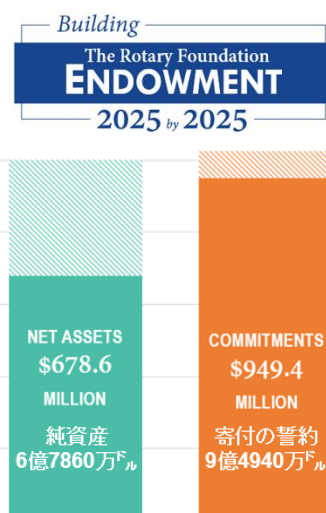
純資産 10 億ドル + 寄付の誓約 10 億 2500 万ドル = 20 億 2500 万ドル

➤ 現在

合計: 16 億 2800 万ドル

目標達成まであと 3 億 9700 万ドル

(純資産 2023 年 6 月 30 日、寄付の誓約 2023 年 7 月 31 日現在)



【国際大会での寄付者行事】

2024年5月25日～29日にシンガポールにおいて国際大会が開催されます。会期中には、寄付者の皆さまに感謝を込めて、特別な行事をご用意されています。



ロータリー財団寄付者行事

- アーチ・クランフ・ソサエティ大会前式典: 5月25日
- ロータリー財団ドナーサミット: 5月27日
- ロータリー財団ユニティ・ボール晩餐会: 5月28日
- 「希望のためのインスピレーション」晩餐会: 5月28日
- アーチ・クランフ・ソサエティ/レガシー・ソサエティ・ラウンジ: 5月25日～29日

出席対象となる寄付者には、今後数カ月の間にこれらの行事にご登録いただくためのEメールが送付されます。詳しくは「[寄付者行事](#)」をご参照ください。(会場や登録料などは、おって掲載されます。)

【変身しつづけるシンガポール】

絶え間なく変わりつづけるシンガポール 2024年ロータリー国際大会の開催地からは目が離せません

新しいシンガポールと出会う

1999年6月、国際ロータリー職員になって1年が経った頃、私は初めて国際大会に出席しました。そのとき初めてロータリーの世界的な力を目の当たりにし、ロータリーで初めての友人たちと出会いました。そのとき、私はシンガポールを再発見することになったのです。続きは[こちら](#)

【訂正 年次基金：一人当たり寄付額 Top10】

財団室NEWS9月号に掲載しました2022-23年度の「年次基金：一人当たり寄付額 Top10」につきまして、下記クラブ名に誤りがございました。

<誤>「大阪南西」、「武生中央」、「広島東南」

<正>「大阪西南」、「武生府中」、「広島西南」

ご迷惑をおかけし誠に申し訳ございません。お詫びして下記の通り訂正させていただきます。今後同様のことがないように再発防止に努めてまいります。

順位	クラブ名	年次基金一人当たり クラブ平均(ドル)
1	熊本城東	1,573.96
2	広島西南	1,382.33
3	大阪西南	1,301.61
4	三田	1,173.85
5	千里	1,015.81
6	浜松ハーモニー	882.81
7	札幌北	806.08
8	富良野	772.39
9	武生府中	769.61
10	徳山	733.11

<補助金>

[ロータリーの補助金](#)

授与と受諾の条件

- [地区補助金用](#)
- [グローバル補助金用](#)

[補助金による旅行](#)

[ロータリーの旅行禁止国リスト](#)

[グローバル補助金ガイド](#)

[地域社会調査の結果フォーム](#)

[地域調査の方法](#)

[協力団体の覚書\(MOU\)](#)

[ローターアクターによるロータリー](#)

[補助金の利用 よくある質問](#)

<重点分野>

[重点分野の基本方針](#)

[重点分野ガイド](#)

[重点分野別ガイドライン](#)

- [基本的教育と識字率向上](#)
- [疾病予防と治療](#)
- [地域社会の経済発展](#)
- [母子の健康](#)
- [平和構築と紛争予防](#)
- [水と衛生](#)
- [環境](#)

[モニタリングと評価の計画について](#)

<プロジェクトのヒント>

[ロータリーショーケース](#)

[プロジェクトフェア](#)

[補助金担当職員一覧](#)

[重点分野の担当職員](#)

[補助金レポートの利用方法](#)

<オンライン申請>

[補助金センター](#)

[補助金センターのご利用ガイド](#)

[補助金センターのご利用ガイド奨学生](#)

[グローバル補助金申請書のテンプレート](#)

[グローバル補助金報告書のテンプレート](#)

[グローバル補助金 計算表](#)

<奨学金>

[奨学金の提供](#)

[ロータリー平和フェロウシップ](#)

[ロータリーの学友](#)

[グローバル補助金奨学生のテンプレート](#)

<補助金の参加資格認定>

[参加資格の認定](#)

[地区の覚書\(MOU\)](#)

[地区の参加資格認定 FAQ](#)

[地区資金管理計画ガイド](#)

[クラブの覚書\(MOU\)](#)

補助金

【世界初のRAC提唱グローバル補助金活動】

第 2660 地区直前ガバナー／RI&TRF 合同 DEI 諮問委員会委員 宮里 唯子

当地区(第 2660 地区)の大阪東ローターアクトクラブが申請しておりましたグローバル補助金が漸く財団本部から承認されました。大変苦勞致しましたが、ローターアクトクラブ(RAC)提唱のグローバル補助金(GG)申請承認は世界初とのことでございますので、概略をご報告させていただきます。プロジェクト概要は下記の通りです。

- プロジェクト概要:モンゴルの公立校における図書室の設置と図書寄贈
- 重点分野:基本的教育と識字率向上
- 提唱者:Khuree ロータークラブ(第 3450 地区) および 大阪東ローターアクトクラブ(第 2660 地区)
- プロジェクト予算:US\$ 32,800

承認のための準備について、4つの側面から当地区とクラブレベルの対応をご説明致します。

1. 地区の役割

- RAC の補助金申請にかかる地区要件を決定し周知する(DDF の配分額や財団寄付要件他)
- 参加資格認定プロセス(補助金管理セミナーと覚書)に RAC の積極的な参加を推進する
- 申請後に否認されたり追加情報が求められた場合に、提唱 RAC に適切な指導やアドバイス、また必要に応じて財団本部のコーディネーターとコミュニケーションをはかる

2. ロータークラブ(提唱クラブ)の役割

(提唱クラブには限りませんが)ロータークラブのグローバル補助金活動に RAC の参加を依頼する。(RAC の GG 申請には、ロータークラブの GG 活動に参加した経験が必要とされています)

3. RAC の役割

申請後も財団本部から要請される追加情報の内容を理解し、適宜実施国提唱者の対応に関心をはらう。(RAC だけではなく、申請書を提出した後は無関心、実施国提唱者任せのクラブが多々見られます。承認まですべてのやり取りに関心を持ち続けることが、より効果的なプロジェクトを構築するプロセスと GG の重点分野基本方針の理解と将来の申請につながります)

4. 「基本的教育と識字率向上」分野(特に図書館事業)におけるクライテリア(承認基準)

図書室の整備や図書の寄贈についても、成果の継続性のための根拠と活動が求められます。図書室と本があれば、子供たちはずっと利用できるのだから継続性だというのは間違いです。

ローターが求める成果の継続性は、教師と学生が図書室と図書を活用し、教師の指導技術が高まり、その結果学生の成績が向上したり進学率が高くなることで担保されます。今回は図書室を利用する学生の成績を評価し、モンゴル語と算数の力が弱いことが地域調査で判明しました。よって、寄贈図書はこの二つの科目の学習効果が見込まれる図書を選択、教育省派遣講師がこれら図書を利用して教師の指導力向上のための研修を実施します。プロジェクトの成果は、今後の学生のテスト結果など成績で測定されます。教師の指導技術が向上すれば、将来入学してくる学生に必然的に高いレベルの教育を実施することができます。これが「継続性」です。

また、図書館や図書室のプロジェクトにおいては、司書の存在が絶対要件です。適正な資格をもつ司書がいないう場合は、教員などを任命し、図書館組織(分類システムなど)、本の貸し出しシステム、本の返却確認、必要に応じて本の修理と交換の方法を含め研修計画が必須になります。

最後に、僭越ながらこれからグローバル補助金活動への挑戦を予定されている皆様へのアドバイスをさせていただきます。オンライン申請書の作成に取り組む前に、まずは各重点分野のグローバル補助金授与のガイドライン(内容が進化しています)をしっかり読みこむこと、次に「グローバル補助金申請のテンプレート」を作成し、財団本部のコーディネーターに要件を満たしているのか、何が必要なのかなどアドバイスを受けることをお勧め致します。コーディネーターとのやり取りと追加情報を充足させることで自ずと良いプロジェクトになって行きます。

日本のローターにおける会員増強と活性化は喫緊の課題ですが、このために私達に期待される取り組みが DEI 推進でありローターアクトの活躍です。Diversity を代表する RAC が財団寄付をしていないという理由で DDF や地区補助金の配分に消極的な地区があると聞いていますが、Equity を実現するならば、彼らの経済や活動レベルに合わせた寄付目標を設定すべきであり、Inclusive な地区とクラブと言われるためには、RAC の積極的な補助金モデルへの参加を促し、協働して活動し、成功の暁には共に讃え合う、そんな日本のローター文化が期待されていると思います。

【まずは自分の体を知ることから】

寄稿者：白川 美咲さん(大阪西南ローターアクトクラブ元会員)

大阪西南ローターアクトクラブ(RAC)では、これまで生理の貧困への取り組みや、国内外の女性の健康と社会進出への支援を続けてきました。

フィリピンの女の子に月経カップを届ける

2020年、大阪西南 RAC のスポンサークラブである大阪西南ロータークラブ(RC)は、地区補助金を活用し、フィリピン・ルソン島のターラックにトイレを設置するプロジェクトを企画。そこで大阪西南 RAC は、併せて現地の女子学生に向けて性教育を実施し、さらに、生理用品を買えずに学校に行けなくなる子や、不衛生な生理用品を使って病気になるリスクを抱えている子を少しでも減らしたいという思いから、月経カップを届ける事業を大阪西南 RC と合同で試みようとして計画していました。しかし、そこへコロナ禍。全て延期となっていました。

コロナ禍が落ち着いてきた 2023 年3月、両クラブでやっと現地を訪ねることができました。現地では、日本で制作した英語の動画と資料を使って、女子学生を対象に生理や妊娠の仕組み、生理中の対策、月経カップの使用法を説明する性教育講座を実施。月経カップも 50 個提供しました。余った月経カップはフィリピンのターラック RAC が、国際女性デーで新たに女性たちに配布してくれました。今回の活動を通じて、フィリピンの女性や子どもたちが快適に過ごせることを願います。記事の続きは[こちら](#)

【広がるデジタル教室】

情報格差の縮小は教師から

それは「バックパックの寄贈」というシンプルなプロジェクトから始まりました。

パナマ・ノルテ・ロータークラブ(パナマ)では、学用品の入ったバックパックを全国の小学校に配るという活動を行っていました。これだけなら、世界各地でよく目にする典型的な奉仕プロジェクトと言えます。しかし、この活動がもたらしたインパクトは想像をはるかに超えるものでした。パナマの教育システムを大きく変えたのです。

きっかけは 10 年ほど前、バックパックを配っていたロータリー会員たちが目にした現状でした。「テクノロジーを使った教育がとても悲惨な状況でした」と語るのは、同クラブ会員のエネデルシー・エスコバー・キングさんです。「多くのパソコンは破壊されて使い物にならないか、教師が使い方を知らなかったのです」 続きは[こちら](#)

【赤ちゃんの命を守るカンガルーケア】

人間も動物も、親は子に対して深い愛情を持つもの。子育てについて言えば、人間が動物から学べることもあります。例えばカンガルーのお母さんは、赤ちゃんが成長するまでお腹の袋の中で育てますが、このカンガルー式子育ては、人間の子育てにもさまざまなメリットがあることがわかっています。

特に早産で生まれた赤ちゃんは、生き延びるために特別なケアが必要とされます。早産と栄養失調で命を落とす新生児は約 160 万人いると言われていますが、そんな未熟児のケアを目的に考案された「カンガルーケア」で、これらの赤ちゃんが生き延びられる可能性が高くなります。 続きは[こちら](#)

【グローバル補助金—奨学金】

事前審査のすすめ

グローバル補助金奨学生の募集や審査を始めている地区も多いと思います。本申請を開始する前に事前審査を受けて、候補者の履修コースやキャリアプランが、重点分野に適しているかどうかを確認し、審査にかかる負担や時間を短縮することができます。

<事前審査とは>

- 主に、候補者が重点分野に適しているかどうかを評価するため行われます。推薦地区やクラブが、留学先の提唱者(ホストスポンサー)を探す前に、最終的な候補者を決定するのに役立ちます。
- 最終的な承認または却下の判断は様々な要素を考慮して行われます。候補者が重点分野に沿っていると判断された場合でも、事前審査ですべての要素を検証できないこともあるため、最終的な審査結果を保証するものではありません。
- 申請期限直前に事前審査の依頼をしないようにお願いします。5月31日以降に提出されたご依頼は、補助金センターでの本申請を優先するため、実施できない場合があります。
- 早い時期にご依頼いただくことで、担当職員が審査とフィードバックを提供する十分な時間を確保できるほか、留学先の地区と連絡を取り、ホストクラブを申請に間に合うように見つける時間的余裕を持つことができます。

📌 **ポイント①:** グローバル補助金を申請するクラブまたは地区のことを提唱者(スポンサー)といいます。奨学金の場合は、留学先の受入クラブや地区が、実施国側提唱者(ホストスポンサー)、派遣する側が援助国側提唱者(インターナショナルスポンサー)です。提唱者となるクラブは、地区から参加資格認定を受けていなければなりません。地区で行われる補助金管理セミナーの受講と合わせて、[ラーニングセンターの補助金管理の再資格認定コース 2023-24](#) もご活用ください。奨学金に特化したコースもあります。

📌 **ポイント②:** 奨学金の申請期限は、開始の90日前または6月30日の早いほうです。例えば、9月10日に就学を開始する方の申請書提出期限は6月10日、10月10日開始の場合は、6月30日です。やむを得ず90日前までに提出できない場合も6月30日が最終期限です。

📌 **ポイント③:** 受入地区のリーダーに連絡をする際は、地区財団委員長(DRFC)や地区奨学金小委員長に送られている最新の「連絡先情報」をご利用ください。ご不明の場合は、事前審査の際に RGO にご依頼または日本事務局財団室までメールでお問い合わせください。ご依頼の際は地区番号をお知らせいただくようお願いいたします。留学先教育機関のある地区を確認するには、[My ROTARY の検索](#) ページをご利用ください。

<ご依頼方法>

事前審査用の送付書類

- [グローバル補助金奨学生申請テンプレート\(英語版\)](#)
([日本語版](#) 地区内選考用)
- 入学許可書や研究機関からの招請状(すでに持っている場合)
- CV(経歴書)

戸籍抄本、パスポートの写しなど、個人情報を含む書類などはつけないようにお願いします。写真や語学テストのスコアも不要です。

テンプレートや申請書記入時の留意点

- 候補者には設問への回答にあたり、経歴、ボランティアまたは職歴、将来のキャリア目標などについて、できるだけ詳しく説明するようにご案内ください。あいまいな回答や不十分な情報は審査を困難にするため避けてください。(例えば「…の経験がありますか。」という問には、「はい」ではなく「どのような経験があるか」を回答します。)
- 受講予定のクラスのリストと重点分野に即したクラスの選択理由を必ず含めてください。ウェブサイトのリンクのみが提供された場合、審査に必要な情報を確認することになり、審査が遅れる要因となります。
- 奨学生候補者の名前は和英併記してください。

依頼先

担当の RGO ([Regional Grants Officer](#))にお送りください。

- 第1地域: セシリア・ウォルター (Cecelia Walter Cecelia.Walter@rotary.org)
- 第2・3地域: スティーブン・サンドストローム (Steven Sundstrom Steven.Sundstrom@rotary.org)

申請の流れ

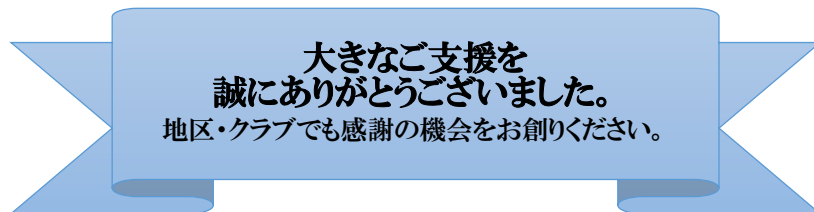
各段階での詳細は、時期に合わせて掲載を予定していますが、募集から報告まで一連の流れを簡単に記載しました。

	手続き段階	備考
1	地区やクラブで募集、 選考をする	・RGO に事前審査を依頼する ・地区内で、DDF の配分など必要な手続きを行う
2	受入クラブや地区を探す	・留学先地区のリーダーに連絡をとり、クラブまたは地区での受入れを依頼する ・派遣、受入側提唱者双方の役割も確認しておく ・依頼用テンプレートを日本事務局やRGO から入手できる ・地区がクラブの返事を待って、返信するには数週間かかることもある
3	申請書の作成	・My ROTARY の 補助金センター から代表提唱者となる人が開始する ・受入側提唱者の地区・クラブ名・代表者の情報がないと開始できない ・入力言語は英語または英和併記
4	候補者の入力開始	・申請書のステップ7に候補者の情報を入力する ・候補者は、入力されたメールアドレスでMy ROTARY アカウント登録をする
5	申請書の提出	・すべての入力が終わりと確定後、承認が全てそろそろと提出される（6月30日厳守）
6	口座情報の提出	・資金を受け取る側のクラブまたは地区が補助金口座情報を提出
7	ロータリー財団の審査	・不足書類や情報があれば問い合わせが来る
8	補助金の支払い	・6で提出した口座に日本円で送金される（日本のクラブや地区が受け取る場合）
9	留学開始	・承認前に開始、発生した経費に奨学金は使えないことに留意 ・オリエンテーションを受講し、受入側に渡航予定や必要な情報を伝える
10	報告書の提出	・報告期限は、支払から1年以内。就学期間と一致しないことに留意

参考：

- [グローバル補助金 奨学金の補足資料\(PDF\)](#)
- [補助金センターのご利用ガイド\(PDF\)](#)
- [補助金センターのご利用ガイド:グローバル補助金奨学生 \(PDF\)](#)
- [ロータリー財団 グローバル補助金 授与と受諾の条件\(PDF\)](#)
- [重点分野の基本方針\(PDF\)](#)

大口寄付(一括10,000ドル以上のご寄付)



2023年8月21日～9月22日 確認分(敬称略、寄付日順)					
地区	クラブ	寄付者	地区	クラブ	寄付者
2770	越谷東	佐久間 誠	2750	東京西	鷹野 保雄
2500	帯広北	細川 吉博	2580	東京目白	並木 正幸
2720	熊本城東	永田 壮一	2760	豊田西	小幡 輝雄
2680	芦屋	宮本 一	計 7 名		

※オンライン寄付や諸手続きを要する大きなご寄付の場合、掲載に時間がかかる場合がございます。

<ロゴ>

[ブランドリソースセンター](#)
[ロゴのテンプレート、クイックガイド](#)
[「END POLIO NOW」のロゴ](#)
[ラーニングセンターの「公共イメージ」](#)
 のコース内の、ロータリーのロゴやブランドのコースもご活用ください。

[クラブ推進の強い味方:ブランドリソースセンター](#)
[クラブで SNS を活用するヒント](#)

今後の予定

7月1日～ 10月1日	ポリオのない世界を目指す奉仕賞
10月24日	世界ポリオデー
11月19日 ～22日	第52回ロータリー研究会ならびに付随プログラム

国際ロータリー日本事務局財団室
 〒108-0073
 東京都港区三田 1-4-28
 三田国際ビル 24 階
 Email: RIJPNTRF@rotary.org
 Tel: 03-5439-5805
 Fax: 03-5439-0405

財団室 NEWS への個人データの掲載は、本人の許可を得ています。ロータリーの事業目的以外でお名前やクラブ名等個人を特定できる情報を含むデータの複製、転用、転載等はできません。詳しくは[個人データの使用に関するロータリーの方針](#)をご参照ください。

ロータリー財団 2023-24年度 8月末 地区別寄付報告 (単位:米ドル)

地区	会員数	一人当り 年次基金	年次基金	ポリオプラス	恒久基金	その他の基金	合計寄付額	前年度 同月比
2500	2,185	35.04	76,558.25	15,554.60	10,209.83		102,322.68	784%
2510	2,355	17.47	41,147.01	6,836.23	70.92	1,103.45	49,157.61	96%
2520	2,006	13.53	27,143.15	10,134.13	25,000.00	206.90	62,484.18	142%
2530	2,162	5.69	12,306.93	3,610.71	139.88		16,057.52	33%
2540	1,101	5.86	6,451.65	250.00			6,701.65	91%
2550	1,591	15.40	24,504.30	2,950.77	9,000.00		36,455.07	162%
2560	1,986	16.33	32,441.27	9,097.59			41,538.86	90%
2570	1,537	30.71	47,207.89	18,578.93	18,934.90		84,721.72	95%
2580	2,878	48.06	138,330.50	37,605.88	18,487.59	11,649.38	206,073.35	115%
2590	1,830	47.22	86,419.49	15,336.56	8,000.00		109,756.05	98%
2600	1,792	21.24	38,059.87	18,953.55	1,284.22		58,297.64	98%
2610	2,438	16.30	39,727.71	8,308.49		206.90	48,243.10	88%
2620	2,821	19.43	54,806.07	12,598.89	10,878.57		78,283.53	92%
2630	3,004	16.41	49,295.24	5,005.68	3,070.92	525.00	57,896.84	84%
2640	1,548	19.00	29,414.72	5,104.68	1,466.17	68.97	36,054.54	101%
2650	4,160	35.87	149,218.77	28,629.14	7,000.00	4,200.00	189,047.91	115%
2660	3,385	41.38	140,085.35	60,936.10	18,516.94	3,218.97	222,757.36	93%
2670	2,822	22.80	64,331.26	28,490.86			92,822.12	94%
2680	2,499	23.77	59,397.23	6,423.71	20,070.92	104.43	85,996.29	88%
2690	2,861	27.50	78,676.82	17,239.54	46,626.00	242.36	142,784.72	128%
2700	3,028	16.95	51,325.74	8,013.19		41.97	59,380.90	80%
2710	3,104	42.49	131,890.93	26,495.14	73,391.00	70.92	231,847.99	142%
2720	2,298	29.45	67,684.64	12,230.50	10,034.48	763.52	90,713.14	269%
2730	2,297	9.26	21,271.62	1,292.28	1,000.00		23,563.90	93%
2740	2,058	11.28	23,220.64	3,072.50	2,100.00		28,393.14	131%
2750	4,479	37.51	168,026.31	33,794.36	65,676.94	2,914.66	270,412.27	141%
2760	4,516	44.39	200,448.97	45,607.28	7,522.48		253,578.73	117%
2770	2,251	65.16	146,667.23	27,704.51	16,000.00		190,371.74	84%
2780	2,346	11.93	27,995.28	35,571.96	4,141.84	1,467.02	69,176.10	189%
2790	2,624	30.85	80,959.58	17,315.94	17,500.00	2,000.00	117,775.52	138%
2800	1,463	23.76	34,759.93	4,193.99		206.90	39,160.82	76%
2820	1,852	26.25	48,609.51	8,237.78	6,075.00	1,500.00	64,422.29	124%
2830	1,082	8.99	9,730.32	2,241.23		0.00	11,971.55	74%
2840	2,003	17.00	34,052.78	7,366.95		68.97	41,488.70	76%
日本	82,362	27.22	2,242,166.96	544,783.65	402,198.60	30,560.32	3,219,709.53	112%
世界	1,153,717	15.79	18,216,080.91	3,852,880.37	8,754,939.77	3,115,001.88	33,938,902.93	
日本の 割合	7.14%	-	12.31%	14.14%	4.59%	0.98%	9.49%	

2023年7月から、ロータリー災害救援基金への寄付は、ウクライナ救援基金・パキスタン洪水救援基金、モロッコ地震救援基金のための2023年12月末までの寄付と同様に、その他の基金に含まれます。